

森林事業の新たな推進拠点として
南予森林組合新事務所が完成



施設の概要

構造・工法

木造軸組工法+CLT材利用 2階建て
敷地面積：6998.54㎡ 建築面積：588.70㎡
延床面積：772.11㎡
(1階529.88㎡・2階242.23㎡)

南予森林組合の新事務所が完成し、5月10日から業務が開始されました。

旧事務所の老朽化に伴い、新事務所が建設され、4月26日には、落成式が予定されていましたが、県内の新型コロナウイルス感染拡大により、中止になりました。

特徴である連続するアーチ状の屋根は、周辺の山並みである南予アルプスを表現。また、木材の繊維方向が直交するように貼り合わせたパネルである直交集成板（CLT）を使用しているため、防火性や遮音性などにも優れた建物になっています。



宗楽寺
花まつり

5月8日、父野川下の宗楽寺でお釈迦様の誕生を祝う「花まつり」が開催されました。

訪れた人たちは、花御堂に安置された誕生仏に甘茶をかけたり、甘茶を飲んだりしながら、各々の願いをお祈りしていました。



アユの稚魚
放流事業

5月19日、広見川漁業協同組合が町内や松野町にある河川で、アユの稚魚を放流しました。

放流したアユは、合計270キロ（約2万7,000匹）。漁業協同組合の役員らは、バケツなどを使って手際よく放流し、アユの成長を願いました。



泉公民館
古代米づくり

5月14日、泉小学校横の田んぼで、泉小学校5、6年生が古代米の田植えを行いました。

新型コロナウイルスの影響により、昨年到现在も全校児童の参加はできませんでしたが、赤米、黒米の苗を一つずつ丁寧に植えていました。



愛治公民館
田植え体験

5月22日、生田にある田んぼで、愛治小学校の児童が田植えを行いました。

今年から実施場所が変わり、地域の方の田んぼの一部を借りて田植えが行われ、植え終わった児童たちは、秋の収穫を楽しみにしていました。